

# 病害虫防除技術情報第 17 号

令和 8 年 2 月 6 日

三重県病害虫防除所

果樹カメムシ類の越冬量が多い状況です。  
春からの越冬個体の飛来に注意してください。

1 対 象 作 物:果樹類(ウメ、ナシ、カンキツ、ビワ等果樹類)

2 対象病害虫名:果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ)

3 発生状況

(1)令和 8 年 1 月に行ったチャバネアオカメムシの越冬量調査では、4.6 頭/地点  
(平年 2.6 頭/地点)と多い状況です。

※1地点:3m<sup>2</sup>

(2) 令和 8 年 1 月に行ったクサギカメムシの越冬量調査では、70.3 頭/地点(平年  
34.4 頭)と多い状況です。

(3)3か月予報(1月 20 日・名古屋地方気象台発表)によると、2 月から 4 月の気温は  
期間後半を中心に高くなる見込みで、果樹カメムシの園地への飛来が早くなる可能性  
があります。

4 防除の注意事項

(1)飛来数は、ほ場による差が大きい傾向があります。気温の上昇など気象の変動をき  
っかけに飛来する可能性も考えられますので、今後の発生動向に注意してください。

(2)過去に飛来が多かったほ場では特に注意してください。

(3)夜間の照明等への飛来を参考にし、ほ場で飛来を確認したら防除を実施してくださ  
い。

(4)果樹カメムシ類は日没後に活発に飛翔するため、薬剤散布は午後から夕刻、または  
早朝に行うと効果が高くなります。

(5)近隣ほ場と散布日を合わせるなど、広域で一斉防除すると効果が高くなります。

(6)合成ピレスロイド系の薬剤を連続して散布することで、ハダニ類、カイガラムシ類の  
発生が多くなる傾向があるので注意してください。

(7)薬剤は農薬登録情報提供システムで調べることができます。

農薬登録情報提供システム:<https://pesticide.maff.go.jp/>

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。